

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果  
(保育所等)

1 評価機関

名 称	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	千葉県船橋市丸山2-10-15
評価実施期間	令和7年5月8日 ~ 10月7日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	リトルガーデンインターナショナル市川認可保育園 リトルガーデンインターナショナルイチカワニンカホイクエン		
所 在 地	〒272-0033 千葉県市川市市川南4-2-19		
交通手段	JR総武線 市川駅より 徒歩12分		
電 話	047-383-9511	FAX	047-383-9512
ホームページ	<a href="https://littlegarden-inter.com">https://littlegarden-inter.com</a>		
経営法人	株式会社リトルガーデン		
開設年月日	2017年4月1日		
併設しているサービス	なし		

(2) サービス内容

対象地域	市川市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	3	12	12	18	18	18	81		
敷地面積	416.30㎡			保育面積		470.37㎡			
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	月一回の発育測定、園医の健康診断								
食事	完全給食								
利用時間	平日 7:00~20:00 土曜 7:00~19:00								
休 日	日曜日・祝日・年末年始(12/29~1/3)								
地域との交流	子育てひろば等								
保護者会活動									

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	15	7	22	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	15		2	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		1	4	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	市川市役所 こども施設入園課	
申請窓口開設時間	8：45～17：15	
申請時注意事項		
サービス決定までの時間		
入所相談		
利用代金	市川市に準ずる	
食事代金	市川市に準ずる	
苦情対応	窓口設置	保育園玄関に掲示
	第三者委員の設置	保育園玄関に掲示

### 3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>【保育理念】 子どもの最善の利益を第一に考え、将来社会を担っていく子ども一人ひとりが「その子らしく健やかに」心身共に育っていく保育園を目指す。また家庭や地域との連携を通して、養護と教育の一体化を行う。</p> <p>【保育方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.一人ひとりの個性を尊重し、自主性を育む。</li> <li>2.主体的な遊びを通じ、心身の健康と自立を育む。</li> <li>3.お友だちや先生との関りを大切に、社会性を育む。</li> <li>4.家庭や地域との連携を大切にして、子どもの成長を支えていく。</li> </ol>
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭的な雰囲気の中で、安心して遊んだり、学んだりできる環境づくりを心がけている。</li> <li>・専門講師による体育教室を3歳以上児を対象に週1回行い、体を動かす楽しさを味わうと同時にルールや決りを守る大切さを学ぶ機会を設けている。</li> <li>・英語講師による毎日のEnglish circle、英語でのあいさつや遊びを通して無理なく英語に触れながら自然と英語が好きになる環境づくりをしている。</li> </ul>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>リトルガーデンインターナショナル市川認可保育園は『子どもたちが将来、世界のどこを活躍の場を選ぼうとも充実した人生を送ることができる基礎を築き上げていくこと、また乳幼児期の子どもたちが心身ともに健やかに育成されるよう保育を行うこと』を目的としたインターナショナル保育園です。認可保育園として日本の保育の質を高めながら、日々英語に触れることでグローバルな感覚や英語の基礎を培うことができます。園内には常勤の外国人講師が1名以上おり、カリキュラムに沿って無理なく楽しく英語に触れる時間を設けています。お天気の良い日は近くにある公園や江戸川河川敷にお散歩に行き、季節の変化を肌で感じながら戸外活動を楽しんでいます。また、楽器遊びや、リズム遊び、運動遊びなどを取り入れ、家庭的な雰囲気の中、様々な経験ができる環境を大切にしています。認可保育園としては規模が小さいので、全職員が子どもたち一人ひとりの事を理解し接している、明るく元気な保育園です。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント  
リトルガーデンインターナショナル市川認可保育園

NPO法人 ヒューマン・ネットワーク

特に力を入れて取り組んでいること
1. こどもの「やってみたい」気持ちを大切にしたり関わりと環境づくりで、こどもの主体性、自主性、非認知力を育てている
一人ひとりのこどもの想いやペースを受け止め、こどもが興味や関心を持った遊びがのびのびと楽しめるよう、保育者はこどもとの対話、観察、見守りと待つ姿勢を大切にしている。こどもが自分で決定できる環境づくりと関わりを職員間で共通理解し協力し合う体制がある。室内はこどもの発達、興味、関心、季節に応じた手作り遊具や既成の遊具を用意し、自由に取出して遊べる環境を整え、自由遊びの時間を確保している。保育者は0歳から5歳までの発達の筋道の理解に努め、3歳未満児の時期は愛着関係をしっかりと築き3歳以上児の保育に繋げている。受容され認められた関わりの中で子どもたちは日々の生活や遊び、また行事に主体的、自主的に取り組みながら非認知能力を育てている。
2. 保育の楽しさを感じる働きやすく、働きがいのある職場である
園長の方針は職員の主体性を尊重し、話しやすく意見の言い易い雰囲気を作り、「得意分野やスキルを活かせる環境」「やってみたいことに可能な限り挑戦すること」など、保育の楽しさを感じながら仕事ができるよう育成に務めて努めている。職員からも「保育に対して柔軟に対応してくれる」「チャレンジする気持ちになれる」「上司との間に壁がなく、風通しが良い」など「の」意見が多く寄せられ、働き易く働き甲斐のある職場が実現している。また、職員一人ひとりを大切に面談や声掛け、クラスでの会話と気づきで個人の成長を共有し、一人で悩まない話しやすい、職員同士の絆を深められる職場づくりが実践されている。
3. こどもの探究心を引き出す食育活動を工夫し、各年齢のこどもが興味をもって参加しながら、「食」への関心や意欲、感謝の気持ちが育っている
給食職員は、様々な食育活動を通して、こどもが楽しみながら「食」への興味・関心を高め、食べることの意欲や食物の大切さ、調理者への感謝の気持ちを育てるよう取り組んでいる。栄養士は日頃から積極的に保育者や子どもたちとコミュニケーションを図り、年齢の発達状況の把握やこどもとの会話から興味・関心を捉え、活動内容を工夫し取り入れている。特に食材に触れる体験を通して「もっと知りたい」「もっと学びたい」という探究心を満たせるような環境づくりに努め、食材を洗う、ちぎる、割く、皮むき、比べる、混ぜるなど年齢に応じた体験の場を保育者と連携し設定している。年長児は自分たちで育てた野菜でいろいろな切り方に挑戦したり、ドレッシング作りでは素材の変化や味を楽しんだ。こどもがやってみたいことを実現できる環境の中で、食への興味・関心が高まり、意欲的に食べる姿や食物や調理者への感謝の気持ちに繋がっている。郵便屋さんごっこを楽しむ子どもたちから、「いつも おいしい きゅうしょくを ありがとう」と手紙をもらい、嬉しい手紙に返信しながら、今後も子ども達が楽しみながら主体的に活動できる「食育」に取り組みたいと考えている。
さらに取り組みが望まれるところ
1. 日々の保育実践から事例を取り上げ環境づくりや関わりを振り返り、こどもの育ちの考察をさらに深めていくことに期待したい
各指導計画の実践内容を定期的に振り返り、職員間で課題を明確にし改善策を次期の保育に繋げるよう取り組んでいる。保育実践の振り返りの基となる保育日誌の記録はこどもの姿やつぶやき等の記録もあり心情の読み取りに繋がるよう書かれている。今後、こどもが安心できる環境の中で、主体的に遊び込んでいるか、安心度・夢中度の視覚化、また今日の遊びからこどもが何を学び、10の姿のどのような力と繋がっているか等をエピソード記述を通して園内研修し、こどもの育ちの考察をさらに深めていくことに期待したい。
2. 保護者満足は高いが、情報提供のあり方を検討しさらに連携を深めていくことに期待したい
今回実施した利用者アンケートの結果は「満足」以上回答が93%、中でも「大変満足」回答が53%と評価が高く、深い信頼関係を築いている。一方で改善して欲しい点等の意見もあり、保護者が求めていることは何かニーズを把握し、情報提供のあり方を検討し保護者との連携をさらに深めていくことを期待したい。

### 3. 園の「子育て支援情報」を積極的に発信し、地域に向けた一層の取り組みを期待したい

園では月に1～2回「子育てひろば」を実施し、園庭開放、水遊び、English morning circleの英語遊びなどを通して、地域の親子との交流の場を広げ、園の機能を活かした地域の子育て支援に努めている。開催の情報は園舎の前に掲示し知らせているが参加人数は少なく、今後に向け、情報発信の工夫が望まれる。ホームページや子育て家庭が集まる場や目につきやすい場所への掲示などに努め、地域に根差した一層の取り組みを期待したい。

(評価を受けて、受審事業者の取り組み)

園のスローガンである、「みんなでつくるシェアわせ保育～Little Friends Shine Bright～」をモットーに、保育園や家庭、地域が、こどもが輝ける場所になるよう、こどもの主体性や育ちを大切に保育実践を行い、環境や事例、エピソードを持ち寄り、保育者全員で考察を深めていく時間を各期に設ける。保護者支援のあり方を見直し、より開かれた保育園になるよう子育てひろば同様、在園時の保護者宛にも窓口があることを掲示等で知らせ、いつでも相談できる環境づくりに努める。また、保育アプリを最大限利用し、きめ細やかな情報提供を心がける。人事体制整備等は運営本部と一体となって取り組んでいく。

福祉サービス第三者評価項目（リトルガーデンインターナショナル市川認可保育園）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目	
				☑実施数	☐未実施数
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備  職員の質の向上への体制整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	2	1
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	4	1
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	3	1
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	4	1
			10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	
II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示  利用者満足度の向上  利用者意見の表明	11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	
			12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	
			13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	
			14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	
	2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み  提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	
			16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	
			18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価  項目別実施サービスの質	19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	
			20 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	
21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5		
22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5		
23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5		
24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組がなされている。			4		
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。			6		
26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。			6		
27 保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。			4		
28 家庭との連携が十分図られている。			3		
29 地域社会との連携が十分図られている。			3		
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。			3		
31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。			3		
32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。			4		
5 安全管理	環境と衛生 事故対策 災害対策	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3		
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4		
		36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6		
6 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5		
計				155	4

## 項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

	評価項目	標準項目
1	理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
	(評価コメント) 保育理念・保育方針は園玄関に掲示するとともに職員専用のファイルに綴り、いつでも閲覧できるようにしている。また、全体的な計画の冒頭に記載し、年間指導計画や月の指導計画は全体的な計画から落とし込み、保育理念の実践に向けて一貫性のある保育を目指している。今後、保育の実践に当たっては職員間で理念・方針・目標等の保育の価値観や基本姿勢を話し合い、園の理念が保育実践に反映されているか現状や課題を確認し、理念をより深く理解することを期待したい。□	
2	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
	(評価コメント) 保育理念「子どもの最善の利益を第一に考え、将来社会を担っていく子ども一人ひとりが・・・」の基に「一人ひとりの個性を尊重し、自主性を育む」等4つの保育方針、「個々を大切にすることにより、子ども一人ひとりが自分で考え行動できるような自主性、自立性を育てる」等3つの保育目標を明示している。保育理念、保育方針、保育目標は入園のおしり(重要事項説明書)に記載し、入園前の見学时や入園説明時に伝えている。理念・方針の実践面については連絡帳アプリのコメントや送迎時の会話、玄関に「今日の出来事」をクラスごとに保育者の一言を添えて掲示し、日々の保育を保護者に伝えている。	
3	事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
	(評価コメント) 今年度の目標は①職員育成に力を入れ、やりたい保育をフォローし、一人ひとりのスキルや良さを保育に活かすように取り組むこと ②一人ひとりのこどもの個性を尊重し、一人の人間として尊重する保育を深めること ③こどもたちの自主性、主体性を大切にしたきめ細かい保育を深めること ④保護者に寄り添いながら保護者と共にこどもの成長を共有すること等である。今後は具体的な課題と目標を職員と共有し、適切な事業計画の策定が望まれる。	
4	理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
	(評価コメント) 職員の意見を尊重し、やりたい保育に挑戦できる環境を整え、サポートしている。意見を言いやすい話しやすい雰囲気づくりに努め、年2回、職員個人面談を実施し、職員からの意見や思いに向き合い、意欲を持って仕事が続けられるよう配慮している。勤務面ではノンコンタクトタイムの確保や休憩でリフレッシュできるように取り組み、シフトなどお互いに助け合い、育児等の家庭事情に配慮し長く働き続けられるように努めている。職員アンケートにも「園長が保育に対して柔軟に対応してくれる、チャレンジする気持ちになれる」と職員評価が高い。	
5	全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
	(評価コメント) 職員会議で「児童憲章」の読み合わせをおこない、こどもの最善の利益と保育の専門家としての心構えと責務について理解及び周知を図っている。年2回、自己評価をおこない、こどもの人権の尊重、保護者支援、個人情報取り扱いなど8項目を振り返り、意識の向上を図っている。こどものプライバシーに配慮し、保育の記録で使用する写真や動画についても確認し、プライバシーや個人情報保護を周知・徹底している。今後、就業規則等に倫理規定の明文化が望まれる。	
6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人管理体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
	(評価コメント) 園長が時間外労働や有給休暇取得状況を確認し就業関係の改善に努めている。話しやすく、相談しやすく職員からの日常の相談等の声掛けがあった時はすぐ時間を作るよう努めている。研修を受けやすいように、行事後や毎月の会議と合わせて開催し、職員が無理なく参加できるように配慮している。フリー職員、子育て支援員の配置など、充足した職員体制を整え、定時終了努力、持ち帰り残業ゼロ、休暇を取りやすいように配慮し、急な休暇についても職員全員で補うようにしている。インフルエンザワクチンや懇親会費用一部負担、休憩室にオフィス置き型サービスを設置、リフレッシュできる環境を整えるなどの福利厚生が行われている。	

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント) 人事処遇は法人本部が主としておこなっており、園長と法人幹部職員が評価を実施している。職員は年2回、人事評価表に基づき会社行動指針、チーム精神発揮、思いやり、信頼関係等4項目を自己評価し、反省・自己評価を文章で振り返り、園長面接を受けて能力向上を図っている。園では独自に保育士の自己評価を基に、勤怠・積極性・保育における専門性・子どもを尊重する保育等について総合的に判断し、法人幹部職員に伝え、公平に評価できるように努めている。今後、職務権限規定の策定、明確な評価基準など人事評価の客観性や透明性の確保が望まれる。		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント) 人材確保は法人本部と連携を図りながら、計画的な採用活動や人員配置の見直しをおこない、安定的な人材確保に努めている。園でも職員の知り合いに声を掛けることや、スポットワークなどの短時間勤務を通じて接点を持つように努めるなど人材確保に努力している。運営面ではクラス担任は常勤職員プラス非常勤職員を担任とした2名体制を整備し、さらに子育て支援員の採用やフリー保育士など、ゆとりある人員体制を整えるように努めている。今後、採用から定着・キャリア支援までを一貫して見通せるシステムの構築を法人本部と共有し、人材育成に関する方針を明確にした取り組みが望まれる。		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) 職員一人ひとりのキャリアアップにつながる研修を受けやすい環境を整え、専門的なスキル向上に取り組んでいる。園内研修は「安全計画」や「嘔吐処理」などの実践的な研修が実施されている。また、研修計画を立て、市主催の「子どもの育ちと学びをつなぐ架け橋期の幼保(こ)は削除小連携」などの研修に参加し、園内研修に繋げ、質の向上を図っている。新入職員はベテラン職員がペアを組み、丁寧に育成に努めている。各リーダー職には、主任が指導力等を養うOJTをおこない、現リーダー職が後輩職員の成長をサポートし、次世代のリーダーを育成できるように取り組んでいる。		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント) 園では「子どもを尊重する保育」の研修として「レジリエンス」を選び、子どもへの声掛けや接し方について職員同士で話し合う機会を設けている。「児童憲章」を読み合わせ「子どもをひとりの人間として尊重し、温かく見守ることを話しあい、子どもの意思を尊重し、子どもの権利を守ることを伝え続けている。自己評価等のチェックリストで自分の保育を振り返り、日々の保育の中で常に話しあい、お互いの保育を見守り合える環境がある。		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 個人情報保護規定を定め、保護者には入園時、重要事項説明書(入園のしおり)にて個人情報収集・使用について説明し同意を得ている。保護者参加行事での写真・動画撮影はSNSへの掲載禁止を周知している。職員に対しては会議録等の子どもの名前はイニシャルで表記し、自身で得た個人情報は園内の職員同士の伝達や業務以外には持ち出さないことなどを徹底し、実習生には誓約書を交わし個人情報保護を徹底している。		
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 保護者とのコミュニケーションを大切にし、日常的に声をかけ相談しやすい雰囲気作りを努めている。保護者代表2名が参加する運営委員会に要望や意見を得て、運動会や発表会などの行事後にはアンケートをおこない保護者からアドバイスなどを頂ける関係性がある。今回実施した利用者アンケートの結果は「満足」以上回答が93%、中でも「大変満足」回答が53%と評価が高く、子どもの成長を共有し深い信頼関係を構築している。		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 苦情解決制度が整備され、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員、受付方法を重要事項説明(入園のしおり)に掲載し、エンタランスに第三者委員に関する情報を掲示し、玄関に意見箱を設置している。寄せられた意見に関しては職員会議で検討し、改善策や回答を掲示している。利用者アンケート「苦情窓口の職員を知っていますか」の項目では「はい」の回答が65%であり、再度苦情解決制度の趣旨等を伝える必要がある。		

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント) 保育士、給食職員、非常勤職員は年度当初に個人目標を設定し日々意識を持って実践に努めている。8月と3月には58項目を3段階で自己評価し施設長との面談をおこなっている。施設長は職員の良かった点や課題を再確認し共に考えたり助言しながら、一人ひとりが次へのステップに繋がるようにしている。クラスミーティング、リーダー会議、職員会議、給食会議で保育を振り返り、明確となった課題を次期の保育計画に反映している。保育の質向上に向けた取り組みとして、0歳児から5歳児の発達の道筋を捉えた計画の作成と実践に努めている。		
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント) 安全、衛生、食物アレルギー対応、事故防止、災害、園外保育等、市川市で作成したマニュアルと法人統一マニュアルを整備している。また園独自に怪我、不審者、地震及び火災、虐待、こどもの所在不明、誤食等の発生時におけるフローチャートを作成し、緊急時に一目で素早く行動できるように備えている。また嘔吐処理方法や食物アレルギー対応については各クラスに掲示し、素早く的確に行動できるように備えている。日々の実践の中で分からない時や新人職員には、マニュアルを活用しながら主任保育士やリーダーが直接助言し育成に繋げている。各種マニュアルやフローチャートはファイリングして事務室に保管しいつでも誰でも閲覧できるようにしている。園内研修の中でマニュアルを見直している。特に災害対応や事故発生時の対応は発生した事案を基に随時見直し、変更箇所の周知を図っている。現在、職員参画の下、保育の基本姿勢等を盛り込んだ「保育マニュアル」の作成を本部と計画している。		
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 <input checked="" type="checkbox"/> 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント) 園の情報はホームページやブログに掲載し発信している。見学や問い合わせはインターネットから受け付けている。見学は平日の11:00からおこない園内を案内しながら室内や園庭で遊ぶこどもの様子や保育者の関わりの様子を実際に見ていただいている。案内は主に主任保育士が担当し、保育目標や園の特色である「英語教室」や「体育教室」、年間行事について説明し園運営や保育内容の理解に繋げている。トイトレーニング、離乳食、英語教室、日々の遊びの内容等、保護者の質問に丁寧に応じると共に、一人ひとりのこどもの育ちを保護者と一緒に支え合っていくことを伝え安心感に繋がるように努めている。		
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント) 教育及び保育の開始にあたり4月入園児は3月に、途中入園児は入園面接日に説明会をおこない、入園のしおりや重要事項説明書を基に施設長及び主任保育士が保育理念、方針、目標や保育内容、一日の流れ、保健、給食、苦情受付、個人情報等について説明している。園生活に必要な持ち物については実物を用意し分かりやすく伝える工夫をしている。説明後は保護者から同意書にサイン、押印を頂き同意を得ている。在園児には6月に保護者説明会を開催している。新入園児は説明会後、個人面談を実施し入園前の生活状況や食物アレルギーの有無、慣らし保育の確認、保護者の意向を聞き取り入園前のヒヤリング用紙に記録している。面談内容は3月の職員会議で書面と口頭で共有し、こどもと保護者が安心して園生活を開始できるようにしている。		
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント) 全体的な計画は保育理念、方針、園の保育目標、年齢別保育目標及び発達過程、健康支援、食育、衛生及び安全管理、災害への備え、職員の資質向上、自己評価、小学校・地域との連携等を組み込み作成している。施設長及び主任保育士が作成した後、各クラスで確認し必要に応じて修正をおこない、年度初めには全職員で内容の共通理解を図っている。全体的な計画は各クラスに掲示し保護者にも知らせている。		
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 <input checked="" type="checkbox"/> ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント) 全体的な計画に基づき各年齢の年間指導計画を作成し、こどもの実態、遊びや生活の連続性、季節等を考慮し、月案、週案、日案に落とし込み日々の保育実践に繋げている。3歳未満児及び配慮が必要なこどもの個別計画を毎月作成し、一人ひとりのこどもの育ちに合わせたきめ細かな教育・保育をおこなっている。その他、食育計画、保健計画を作成しこどもや家庭の食育推進と健康支援に繋げている。計画と実践の振り返りはクラスミーティング、リーダー会議、職員会議、給食会議でおこない、各クラスの保育内容とこどもの姿、日々の保育の中での気づきや課題を共有し、課題への提案、改善策等が話し合わせ、翌月の指導計画に反映している。		

20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場所が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に遊べる時間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>発達過程や一人ひとりのこどものペースを大切に、こどもが興味や関心を持った遊びがのびのびと楽しめるよう、保育者は見守りと待つ姿勢を大切にしている。保育者はこどもとの対話を大切にする中で想いや発想を把握し、誘導的な言葉かけではなく、「どうしたい?」「どう思う?」等、こどもが自分で決定できるような関わりに努め、こどものやりたい気持ちを実現できるようさりげない援助や環境作りに努めている。またこどもが活動の切り替えがスムーズにできない時は、気持ちの切り替えができるまで待てるよう他職員と声を掛け合い協力し合う体制がある。室内はまご、パズル、ブロック、プラレール、絵本等のコーナーを作り、こどもが自由に教材や遊具を取り出して遊べる環境を整えている。園の特徴としている英語教室はモーニングサークルやイングリッシュレッスンの時間に外国人教師と歌やゲーム、フラッシュカード、ワーク等で楽しく遊ぶ時間となっている。外国人教師と一緒に生活や遊びを共にし日頃からの関係性も良好で、子どもたちにとって英語が身近な言語となり、異文化を知る機会にもなっている。</p>		
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>現在3名の0歳児が在籍している。保護者とは日頃からの連携を大切に連絡帳、送迎時の会話、面談等を通してこどもの育ちの共有を図っている。保育者は語りかけ、歌いかけ、触れ合い遊び、絵本の読み聞かせでこどもとの触れ合いを大切に、応答的な関わりとスキンシップで愛着関係を築きこどもが安心して心地よく過ごせるよう努めている。室内は音や色、動き、感触が楽しめる遊具をこどもの目線で取り出しやすい位置に用意している。歩き始めのこどもが使えるよう職員が段ボールで手作りの歩行者を用意したり、這い這いや伝い歩きが安全に楽しめるスペースを確保している。今年度は高月齢であることから1歳児職員と連携して流動的な保育をおこなっている。食事時間は1対1の関わりができるよう主任保育士やフリーの職員を位置づけゆったりとした環境の中で食事が楽しめるよう配慮している。</p>		
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。) <input checked="" type="checkbox"/> 周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>基本的な生活習慣はこどもの気持ちに寄り添い自分でやりたい姿を尊重した関わりに努めている。1対1でゆったり関わりながら言葉を添えてやり方を伝えたりさりげなく援助し、自分でできたことの満足感が得られるようにしている。1、2歳児は自我が芽生え自己主張も多くなることから、子ども同士の関わりの中でトラブルも多々発生するため、保育者はお互いの気持ちを代弁し友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。嘔みつきやひっかきが発生した場合は丁寧に保護者に伝え園や家庭での様子を伝え合い、保護者との連携と職員間の共有に努めている。広く明るい室内はこどもの発達、興味や関心、季節に応じた遊具を用意し、遊びが混在しないよう柵の使い方を工夫したりカーペットの使用等でコーナー作りをしている。園庭遊びや年上児との散歩を取り入れ周囲の環境や人、物への関心が広がる機会を作っている。</p>		
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>一日の流れや活動内容をボードに掲示したり時計にマークを付けて時を知らせる等、一日の流れを視覚的に示しこどもが見通しを持って意欲的に生活や活動に取り組める環境づくりをおこなっている。他児と関わって遊びが楽しめるようカードゲームやボードゲーム、鬼遊び等の集団遊び、グループ活動等を取り入れ、友だちとの関係の中で非認知能力を培っている。5歳児室にはカブラ(積み木)でタワーが制作してあったり、キューやレゴブロックの作品を皆で名付けた「くずさないでゾーン」に展示し、こどもが継続して遊びを楽しむことができる環境作りに努め、こどもの興味や関心をさらに引き出し活動への満足感と次への意欲や期待感に繋げている。郵便遊びは年下児や職員、家庭内にも広がり継続中の遊びの一つになっている。「心を合わせて」をテーマにした運動会の演技や競技では友だちと協力する大切さを学び、4、5歳児の遠足では実体験の感動とワクワク感を満喫する活動となっている。</p>		
24	身近な自然や地域社会と関われるような取り組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)</p> <p>公園や河川敷など積極的に散歩に出かけこどもたちが身近な自然や地域社会と関われるようにしている。公園では遊具や集団遊びで体をたくさん動かして遊んだり、季節の花や虫を見たり触れたり、持参したポケット図鑑で調べたりして様々な発見や探求心を育てている。消防署員にインタビューしたり、近隣のスーパーから段ボールを頂きお礼の手紙を書く、近隣保育園や小学校との交流等、地域の方々と触れ合う機会を作っている。七夕、お月見、節分等、日本古来の行事やハロウィン、クリスマス、毎月のお誕生会、保護者と楽しむ夏まつりや運動会等を取り入れ、日常の園生活に変化と潤いが持てる工夫をしている。</p>		

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、子ども達同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育者はこどもの気持ちを受け止め丁寧な関わりと肯定的な言葉かけを大切にしている。こどもは認められることで自信と自己肯定感を持つことでトラブルや困難に出会った時に自分で考える力が発揮できるようにしている。意見の相違からけんかやぶつかり合いが生じた時は、保育者は発達段階に応じた援助に努め、相手の気持ちに気づいたり、自分の気持ちを言葉で伝えることの大切さを知らせている。3歳以上児のお当番活動、グループごとの係活動、行事の際の役割分担等では、責任感や協調性が育まれている。朝夕の時間帯や、夏季保育、散歩の他、年長児が3歳未満児の部屋で一緒に遊んだり着替えや昼寝の世話をする等、異年齢で過ごす中で優しく接したり甘えや憧れの気持ちが見られている。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>一人ひとりのこどもの特性を把握し、その子が心地よく過ごし集団の中でも無理なく参加できるように、視覚的支援や活動スペースに配慮した環境づくりに努めている。日々の観察記録は指導計画に反映し、きめ細かい配慮や必要に応じて園内での情報共有をおこない、園全体で支援する体制を整えている。また、専門研修や専門機関と連携を図り、相談、助言を受けながら、必要な支援を学び保育に活かしている。保護者との連携にも力を入れ、家庭での様子や希望を丁寧に聞きながら支援をおこなっている。</p>		
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>引継ぎはクラス伝達ノートを活用し伝えている。伝達内容の記載や伝達漏れの無いように徹底し、伝え忘れが合った場合は当日中に電話で連絡し説明している。また、コミュニケーションアプリを活用し、細かな情報を職員全体で素早く共有して適切な対応に努めている。延長保育時間の保育においては、こどもの安心・安全を第一に考え、こどもがゆったりと楽しみながら過ごせるように、空間の広さや延長保育用の玩具の設定に配慮している。保育者はこどもの気持ちを受け止めながらスキンシップを図り、保護者の迎えを安心して待てるように保育している。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>送迎時には保護者に声をかけ、可能な限りこどもの様子を伝えている。職員紹介は、各職員の特徴などを交えながら親しみやすい内容で構成されている。また、保護者との情報共有がスムーズにできるよう、当日と明日の早番・遅番担当者を掲示するなど様々な工夫や配慮が成されている。3歳未満児は連絡帳にその日のこどものエピソードをピックアップし伝えている。3歳以上児はクラス活動の様子(今日の出来事&amp;写真)を毎日掲示し、掲示内容はファイルに綴じ玄関前に設置して、いつでも閲覧できるようにしている。保育参観は年1回、期間を3か月設けるなど、保護者のニーズに合わせて実施している。個人面談は6月に計画し、家庭と園での情報共有や保護者の意向を聞き取り支援の方向性を確認している。クラス懇談会は年2回実施し、活動内容の情報発信や親睦を図れるよう、各クラスで内容を工夫して開催している。施設長・主任も積極的に声をかけ、開かれた相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、配慮を必要とする保護者の思いに寄り添いながら、個別の支援をおこなっている。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>就学に向け、小学校と連携を図り、年長児は校内見学を体験し、小学校への期待感を高めている。また地域の園児たちと一緒に一年生と昔遊びを楽しみ、地域や学校とのつながりを感じたり、伝承遊びに親しみをもち参加することができた。年長の担任は就学前研修や小学校でおこなわれる研修会に参加し、小学校との積極的な連携を図っている。保育要録、依頼があれば市川市のスマイルプランを作成し、小学校へ送付している。</p>		
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>こどもの様子を日々丁寧に観察し、虐待など権利侵害の早期発見に努めている。傷や怪我など、保護者から直接伝達が無かった場合には保護者に確認している。気になる変化や疑わしい状況がみられた場合には園内で情報共有し、必要に応じて関係機関と連携し対応している。保護者から相談を受けることもあり、保護者の育児不安や困っていることなどに丁寧に対応し保護者の状況を受け止めながら、早期発見・早期対応に努めている。また、権利侵害や保護者支援研修等を受講し、適切な支援に向け全職員で学び合っている。</p>		

31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
<p>(評価コメント)</p> <p>保健計画に基づき、こどもの健康状態の観察をおこない、異常の早期発見・対応に努め園児が健康に園生活を送れるようにサポートしている。送迎時には体調の変化や傷の有無を聞き、個々の体調に考慮しながら保育活動をおこなっている。クラス担任以外の職員もこどもの体調を把握できるようクラスの伝達ノートを活用している。乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防として0歳児には午睡センサーを使用、睡眠時の事故予防については研修(危機管理)をおこなっている。保護者に対しては入園時や保健だより等で情報を提供している。毎月行われる身体測定と年に2回実施の内科健診・歯科健診の結果は児童票に記録し、保護者には「すこやか手帳」を通して通知している。また、月齢・年齢に見合った生活援助をおこない、正しい手洗いやうがいの仕方、歯の磨き方、鼻のかみかた等、自ら健康に関する生活習慣を身に付けていけるように援助している。</p>		
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>感染症や疾病の発生時には、感染症マニュアルや業務継続計画(BCP)に基づき、迅速かつ適切な対応をおこなっている。日常的な衛生管理に加え、嘔吐・下痢処理法、感染症の対処方法を園内研修で習得し、感染症発生時には拡散を防ぐ為の適切な対応に努めている。また、発生時には玄関掲示や保育アプリでの情報提示など保護者へ迅速に連絡し拡大防止に努めている。怪我や体調不良の際には、職員が速やかに保護者へ連絡、状況に応じた適切な処置をおこなっている。感染症については必要に応じて嘱託医、保健所等に連絡し、アドバイスや指示に従って対応するよう努めている。保護者へは、保健だよりで季節に流行する感染症についてや、風邪予防、消毒方法などの情報を提供している。</p>		
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
<p>(評価コメント)</p> <p>食育計画を策定し、年齢や発達に応じた食育活動を通じて、こどもたちの「食」への関心や意欲を育んでいる。栄養士は日常の中で保育者やこどもたちと積極的に関わり情報をキャッチし、保育者と連携して食育活動を取り入れている。年齢に応じた食材に触れる体験や簡単なクッキング、野菜の栽培・調理の他、世界の料理、季節の行事食、リクエストメニューなどを提供し、こどもたちが楽しみながら食事が出来るよう努めている。アレルギー児への対応は「生活管理指導票」に基づき毎月アレルギー面談をおこない職員のチェックも3段階に分けて行い適切に提供できるよう努めている。栄養士による園内研修をおこない、誤食・誤飲防止の徹底を図っている。</p>		
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>施設の温度、湿度は「快適な温度設定」を基本に活動に合わせて調整している。室内の定期的な喚起、彩光の調節も適宜おこない、こどもが快適に過ごせるように配慮している。感染症が流行る時期の換気や室内清掃、玩具の消毒などは特に細目におこない保健的環境の維持に努めている。こどもが手指を清潔に保てるよう保育活動の中で手洗い指導をおこなっている。夏はサンシェードを園庭に設置し、水遊び・プール遊びを安全な環境で行えるよう努めている。</p>		
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
<p>(評価コメント)</p> <p>事故発生時のフローチャートを事務所に掲示し、迅速な事故対応に備えている。保育所安全計画を策定、職員研修をおこない訓練に活かしている。ヒヤリハットによる検証と分析を園内研修でおこない、リスクの予測能力を高め事故防止に繋げている。年に1回、市川警察署による防犯訓練の実施や防犯カメラを設置し不審者への対応・対策を図っている。園庭、砂場、室内外の遊具・玩具、備品の安全点検は毎日実施し、散歩コースの危険箇所も写真を添付して纏め、職員間で共有している。保健衛生・安全対策研修や危機管理研修への積極的参加や園内研修を通し、研修で学んだ内容を職員にフィードバックするなど共通理解を図っている。</p>		

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。

(評価コメント)

業務継続計画(BCP)を策定し、定期的に見直ししながら職員へ周知している。避難訓練は毎月実施、その他、延長保育時の避難訓練をおこなっている。消防署と連携した火災の避難訓練は年1回実施している。保護者の引き取り訓練は南海トラフ地震を想定し、第一避難所である園庭で引き渡し、保育園の指定避難場所、各家庭の近くの避難所の確認を通して、職員、保護者共に災害への対応について考える機会にしている。風水害の訓練は「避難確保計画」に基づいておこなっている。津波を想定した訓練では、隣接するマンションのオーナーとも連携を取り、屋上までの避難訓練を実施し非常時に備えている。

37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。

(評価コメント)

月に1~2回「子育てひろば」を実施している。園庭開放、水遊び、English morning circleなどを通し、地域の子どもたちや職員との交流の場を設けている。毎月週1~2回の園見学では、施設の見学の他、子育てに関する相談・助言や援助もおこなっている。地域の子育て支援に関する情報は配布物や掲示等で提供している。ハロウィン・発表会・消防署訪問・郵便局訪問・買い物体験(スーパー)等を通して、子どもと地域の人々との交流を深める活動をおこなっている。